

建廃協 NEWS 107号

新和環境株式会社 埼玉リサイクルセンターへ訪問

先月に引き続き組合員の工場見学として、新和環境さんの埼玉リサイクルセンターを訪問しました。収集運搬にまつわるオリジナルのサービスや、新たに開設された積替保管施設の様子を見学させていただきました。

また、今回は現場担当者に共同購買についてのご説明の機会をいただき、今後このような共同購買があったらいいというご意見もいただきました。

フレコンキャリア用の蓋

フレコンキャリア用の「蓋」をご紹介いただきました。

廃棄物が雨に濡れる心配がなく、屋外現場に特化しています。



キャリアに設置した様子▶

メンテナンス部門

メンテナンス事業場を見学させていただきました。事業場はスペースが広く、様々な部品や工具が揃っていました。ベルトコンベアなどの工場内設備や、コンテナ容器や車両など、軽微な修理については可能な限り自社で行われているそうです。



▲部品が保管されている様子



▲修理中のコンテナ

新しい積替保管施設

今年5月に新しく開設された積替保管施設では、重機も投入し、より効率的な荷下ろしを目指しているとのこと。保管上限を超過しないよう、壁面にテープで印付けといった工夫が施されていました。



▲外観



▲内観

メンテナンス部門では、女性社員も第一線でエネルギーに業務に取り組んでいました。性別に関わらず誰もが能力を発揮できる職場環境だと感じました。



▲伊勢委員長と談笑中

共同購買の様子

新和環境さんでは、お客様からお預かりした水銀使用製品を自社で積替保管後、共同購買という形で株式会社ウム・ヴェルト・ジャパンさんへ搬出しています。

「共同購買」を文字でご紹介しても、具体的にどのような取引が行われているのか、イメージしにくい方もいらっしゃるかもしれません。そこで今後は、実際に共同購買を導入し、活用されている企業の事例をご紹介します。



▲積替保管中の蛍光灯の様子

スポットライト

近年、地球温暖化の影響で厳しい暑さが続いており、熱中症対策は企業にとって大きな課題となっています。そうした中、新和環境さんでは、ドライバーの皆さんがWBGT値測定器を携帯することを義務付けているそうです。

このWBGT値測定器は、暑さ指数（WBGT値）が規定値以上になるとアラートを発する仕組みになっています。これにより、産廃回収などで作業を行う事業場の暑さが危険なレベルかどうかを、リアルタイムでドライバー自身が確認することが可能になります。



▲腰に携帯している様子

PR広場

株式会社ハマンより、トラックシートに次ぐ安全ベストの販売が始まりました。工場や運搬で色を変えて使用している組合員さんもあります。反射の幅が50mmと70mmを準備しております。ご検討ください。

